

地球

昭和七年

六月

第拾七卷

地球 第拾七卷 總目錄 昭和七年一月—六月(アラビア數字は號數を示す)

圖 版

- | | | |
|---------------------|----------------------------|-------|
| 第一版 | 搔痕を有する推石(一)中央線富士見驛附近の安山岩大塊 | (第一號) |
| 第二版 | 同 (二)中綱圈谷の硬砂岩塊 | (第一號) |
| 第三版 | 同 (三)親海舊湖窪及び伊那權兵衛峠西麓の粘板岩塊 | (第一號) |
| 第四版 | 姫川上流沿岸地質圖 | (第一號) |
| 第五版 | 朝鮮福辰山地質圖 | (第二號) |
| 第六版 | 宮川及び釜無川氷河遺跡 | (第三號) |
| 第七版 | 南紀太地産加里アノソクレスの單晶及雙晶圖 | (第三號) |
| 第八版 | 同 雙晶圖 | (第三號) |
| 第九版 | 含古銅輝石安山岩 | (第四號) |
| 第十版 | 河内國堅上村地之變動圖 | (第四號) |
| 第十一版 | 河内國堅上及び大和國王寺町地之寫眞 | (第五號) |
| 第十二版 | 姫川中流下流沿岸地質圖 | (第六號) |
| 中央日本の洪積世氷河作用に就いて(三) | 3.1. 小川 琢治 | (第六號) |

關東州金州北西乃至北方の島嶼の地質……………	1.	松下 進……………	九
姫川上流沿岸の地質概報(一)(二)……………	2.1.	笹倉 正夫……………	三三
北海道旭川附近の屯田兵開墾聚落に就いて……………	1.	島 之夫……………	四
アビシニヤ國王に謁するの記……………	3.2.1.	小牧 實繁……………	三三
伊太利ところ……………	6.5.4.2.1.	瀧川 規一……………	四〇
朝鮮福辰山に於ける若干の觀察……………	2.	吉澤 甫……………	七
グシクスバークの都市地理的研究……………	2.	増田 忠雄……………	一〇一
強酸性の湖水と湖沼標式の一つの問題……………	2.	上野 益三……………	一一
嘉南大圳について……………	2.	川上 健二……………	一四
南紀東牟婁郡太地産加里アノソクレースに就いて……………	3.	君塚康治郎……………	一七
越中吳羽山及び其西南丘陵地體の地形學的考察……………	3.	市川 渡……………	一〇六
奈良三笠山火山の地質……………	3.	春木 篤夫……………	一三六
筑豊炭田に於ける含古銅石輝石安山岩に就いて……………	4.	上治寅次郎……………	一四三
大阪府中河内郡堅上地より見學案内……………	4.	槇山 次郎……………	一五〇
松本平北部地方の積雪量分布とその文化景觀に及ぼす影響(一)(二)……………	4.	大西 芳雄……………	一五二

駿豆相交界地方の聚落に對する歴史地理學的考察 (二) 5.4. 耕崎 正男 三五三

世界油田の現状と石油工業 (三) 6.5.4. 近藤堅二(譯) 三五三

東ビレネーの春 (二) 5.4. 小牧 實繁 三五六

河内堅上地之運動觀測の結果に就て 5. 松山 基範 三五三

紀州有田郡由良町附近に發達する中生層の或る新事實に就いて 5. 杉山 敏郎 三五三

史前人の岩石利用に關する問題 5. 赤堀 英三 三五七

姫川中、下流沿岸の地質並に姫川谿谷の地質構造的意義 6. 笹倉 正夫 四五〇

紡錘蟲科有孔虫の分類に關する論說の評論(一) 6. 半澤正四郎 四五三

松川扇狀地に於ける地下水と文化景觀 6. 安田 初雄 四六

新著紹介

内外蒙古の横顔 1. 三六

英和和英鑛物辭典 1. 三六

最新世界航空大觀 1. 三六

人種學各論前編 1. 三六

陸地測量部發行地圖目錄 1. 三六

地圖の讀み方 3. 三三〇

世界地理精義 3. 三三〇

徳川中期以後大阪出版地理書目錄 3. 三三六

日本島瞰圖 6. 四七九

地形表示法としての正形浮上り圖法 6. 四七三

新刊即報

比叡山 4. 三八

萬集地理考 4. 三八

滿洲事變と不戰條約、國際聯盟 4. 三九

地理學概論 4. 三九

日本古版集成 6. 三九八

景觀地理教授法 6. 三九九

雜報

南米西岸の地理的特徴	1	七
新しい大阪城天守閣の壯觀	1	六九
紅藍花	1	七〇
外蒙古國民共和國	1	七一
米國南部に茶が出来る?	1	七二
人絹の生産及輸出	1	七三
佛國の葡萄酒生産統制	1	七三
聯合講演會開催豫告	1	七四
昭和六年十一月末關員名簿補遺	2	一〇〇
龍甲の話	2	一四〇
マルセイユ中心の航空運送	2	一五五
我國に於ける山林の利用	2	一五九
本邦に於ける佛國海岸松	2	一五九
第五十五回文檢地理科豫備試驗問題	2	一七〇
地球學團講演會	2	一七九
聯合講演會開催豫告	2	目錄の次頁
中華民國の海産物	3	二二九
ニューカレドニアと日本人	3	二二九
印度向本邦雜貨類	3	二四一
南米智利國の財政の危機	3	二四二
イタリーの絹業中心地	4	三三九
昭和六年の世界經濟界	4	三三〇

質疑應答

トルコに於ける日本綿布	4	三三
享保以後の地理關係出版書目(大阪)	4	三三
地球學團及三學會聯合講演會	5	四〇
朝鮮主要都邑に於ける人口増加の狀態	5	四〇
北東シベリアのテュルスキー山脈	5	四〇
歐羅巴に於ける最深の湖水	5	四〇
伊勢、大三村化石新産地	5	四〇
石川成章氏還曆祝賀會	5	四〇
但馬美方郡兔塚村附近の第三紀化石産地	6	四四
明延鐵山の錫	6	四四
但馬養父郡關宮のクロトム鐵礦	6	四五
但馬のニツケル鐵床の現況	6	四五
日本農家の副業	6	四五
噫乎河村幹雄先生	6	四六
ソウイェット政府の外國貿易の様子	1	七三
レンジングラード港	2	一六

地球

第七卷 第一號

昭和七年一月一日發行

主要目次

圖版 第一版 堆石 (安山岩)

第二版 同 (硬砂岩)

第三版 同 (粘板岩)

第四版 姬川上流沿岸地質圖

中央日本の洪積世氷河作用に就いて(三)

關東州金州北西乃至北方の島嶼の地質

姫川上流沿岸の地質概報(一)

北海道旭川附近の屯田兵開墾聚落に就いて

アピシニア國王に謁する記(二)

伊太利ところへ(二十三)

文學士 小牧實繁
文學士 瀧川規一
文學士 島之夫
文學士 笹倉正夫
文學士 松下進
文學士 小川琢治

新著紹介

雜報

質疑應答

第拾六卷總目錄

京 都 帝 國 大 學 內
地 球 學 團

地球第拾七卷第一號 (昭和七年一月)

目次

圖版 第一版 堆石 (安山岩)

第二版 同 (硬砂岩)

第三版 同 (粘板岩)

第四版 姫川上流沿岸地質圖

中央日本の洪積世氷河作用に就いて(三)

關東州金州北西乃至北方の島嶼の地質

姫川上流沿岸の地質概報(一)

北海道旭川附近の屯田開墾聚落に就いて

アビシニヤ國王に謁するの記(二)

伊太利ところく(二十三)

新著紹介

○内外蒙古の横顔

○最新世界航空大観

○南米西岸の地理的特徴

○紅藍花

○英和、和英礦物辭典

○人類學各論前編

○新しい大阪城天守閣

○外蒙古國民共和國

理學博士 小川 琢 治……………一
 理學士 松 下 進……………九
 理學士 笹 倉 正 夫……………三
 文學士 島 之 夫……………四
 文學士 小 牧 實 繁……………五
 文學士 瀧 川 規 一……………七

○米國南部に茶が出来る？ ○人絹の生産及輸出
 ○佛國の葡萄酒生産統制

質疑應答
 ○ソウイェット政府外國貿易の様子
 ○東京地質學會總會、日本岩石礦物礦床學會、地球學團及
 日本火山學會との聯合講演會開催豫告

第拾六卷總目

地球學團規約

第一條 本學團は地球學園といふ。
 第二條 本學團は地球に關する學術的研究を進め兼て同好の士の親睦をはかるを目的とする。
 第三條 事務所を京都市白川追分町京都帝國大學地質學教室内に置く、又會員が多い地方には支部を置く事がある。
 第四條 本學團の事業は次の如くである。
 雜誌並に圖書の刊行
 講演並に講習會の開催

第五條 本學團員は地球學園として一年分六圓又は半年分三圓を發行所へ納付すること。
 第六條 本學團員になりたい人は、住所職業氏名を申込み、同時に地球學園を退しやうとする者は、發行所へ送金する事。
 第七條 學園を退しやうとする者は、其の旨を學團に通知すること。

註文規定

① 購讀者の御注文及び廣告に關する件は博多成象堂へ御申込下さされ度候
 ② 本誌の御注文代金郵税共すべて前金にて御送り下され度候
 ③ 郵券代用にての御注文は一割増に願上候
 ④ 振替貯金にての御注文は、振替大阪七菱參參番、東京五貳六〇七番博多成象堂に願上候
 ⑤ 前金切れの場合に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候
 ⑥ 特別に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候

定價	
一册 (前金)	定價金五十錢
六册 (前金)	定價金參圓
十二册 (前金)	定價金六圓
特大號定價の差額は別に申受候	
	郵税金壹錢
	郵税不申受
	郵税不申受

廣告料 一頁 金五十圓

昭和六年十二月廿五日印刷納本(第拾七卷) 定價金五拾錢
 昭和七年一月一日發行(第一號)

不許複製
 禁止轉載

編輯者 京都帝國大學 地球學團

右代表者 藤田元春

發行者 大坂市西區大寶寺町西之丁貳拾貳番地 博多久吉

印刷者 大坂市西區阿波羅中通二丁目四番地 井下精一郎

印刷所 大坂市西區阿波羅中通二丁目四番地 井下書籍印刷所

發行所 大坂市南區大寶寺町西之丁貳拾貳番地 博多成象堂
 電話特南壹七七番

發賣所 東京市神田區錦町三丁目拾貳番地 博多成象堂
 大坂市南區大寶町西之丁貳拾貳番地 振替 [東京五貳六〇七番 大阪七菱參參番]

所 賣 東 京 大 阪 神 戶 京 都 古 屋
 東 隆 館 東 隆 館 東 隆 館
 北 盛 文 館 北 盛 文 館 北 盛 文 館
 盛 文 館 盛 文 館 盛 文 館
 實 文 館 實 文 館 實 文 館
 共 社 共 社 共 社
 マ ガ ジ ン 川 瀨 書 店 川 瀨 書 店 川 瀨 書 店
 星 野 書 店 星 野 書 店 星 野 書 店

CHIKYŪ THE GLOBE

Vol. XVII. No. 1.

January, 1932.

PLATES I—III. Scratched Boulders.

PLATE. IV Geologic Map along the upper course of the
Himekawa.

On the Pleistocene Glaciation in Central Japan. (3)

By T. Ogawa, *R. H.* 1

Geology of the Islets appended to Kwantoshu,
(Liau-tung Peninsula).

By S. Matsushita, *R. S.* 9

Geological Report of the Upper Course of the
Himekawa, Honshū. (1)

By M. Sasakura, *R. S.* 33

Colonial Villages built by Soldiers in Hokkaidō.

By Y. Shima, *B. S.* 44

Reminiscence of an Audience with the King of
Ethiopia. (2)

By S. Komaki, *B. S.* 51

Glimpses of Italy. (23)

By K. Takikawa *B. S.* 57

New Books—Geographical Notes—Inquiries.

Contents to the Volume XVI.

Chikyū Gakudan

Kyōto Imperial University.